

日本国外に住む親族を扶養控除の対象とする方の記載例

給与所得について年末調整を受けた方が、日本国外に住む親族を新たに扶養控除の対象とする場合

【第一表】

手順1
7ページ
参照

00 税務署長
30年 2月 16日 平成 29 年分の 所得税及び復興特別所得税の確定申告書A FA0113

〒 XXXX-XXXX
住所 (又は居所) 〇〇市△△町X-XX-X
個人番号 XXXXXXXXXX
フリガナ コクセイ タロウ
氏名 国税 太郎
性別 男
世帯主の氏名 国税 太郎
世帯主の続柄 本人
平成30年 1月1日 住所 同上
生年 月 日 3 4 9 1 1 1 6
電話番号 XX-XXXX-XXXX

マイナンバー
(個人番号)を
記入する必要
があります。

明治・「1」
大正・「2」
昭和・「3」
平成・「4」

手順2
8ページ
参照

(単位は円)

収入金額等	給 与 ⑦	7140000
	公的年金等 ⑧	
	その他 ⑨	300000
所得金額	配 当 ⑩	
	一 時 ⑪	
	給 与 ①	5226000
	雑 ②	300000
所得から差し引かれる金額	配 当 ③	
	一 時 ④	
	合 計 ⑤	5526000
	社会保険料控除 ⑥	1073196
	小規模企業共済等掛金控除 ⑦	
	生命保険料控除 ⑧	105000
	地震保険料控除 ⑨	21000
	寡婦、寡夫控除 ⑩	0000
	勤労学生、障害者控除 ⑪	0000
	配偶者(特別)控除 ⑫	380000
扶 養 控 除 ⑭	1010000	
基 礎 控 除 ⑮	380000	
⑥から⑮までの計 ⑯	2969196	
雑 損 控 除 ⑰		
医療費控除 ⑱		
寄 附 金 控 除 ⑲		
合 計 (⑯+⑰+⑱+⑲)	2969196	

手順3
11ページ
参照

税 金 の 計 算	課税される所得金額 (⑤-⑩)	2556000
	上の⑩に対する税額 (⑫)	158100
	配 当 控 除 (特定増改築等) 区 分 (住宅借入金等特別控除) 分	
	政党等寄附金等特別控除 (⑭-⑰)	
	住宅ローン減税特別控除 区 分 (住宅取得等資金等特別控除) 分	
	差 引 所 得 税 額 (⑫-⑭-⑮-⑯)	158100
	災 害 減 免 額 ⑳	
	再 差 引 所 得 税 額 (基 準 所 得 税 額) ⑳	158100
	復興特別所得税額 (㉑ × 2.1%)	3320
	所得税及び復興特別所得税の額 (㉒+㉓)	161420
そ の 他	外国税額控除 区 分	
	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	200130
	所得税及び復興特別所得税の未納税額	00
	申告納税額 (㉔-㉕) ⑳	38710
	配偶者の合計所得金額 (㉖)	
	基 準 一 般 所 得 税 及 び 復 興 特 別 所 得 税 の 源 泉 徴 収 税 額 の 合 計 額	30630
	未納付の所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	
	申告期限までに納付する金額	00
	延 納 届 出 額 ㉗	000
	還 付 金 額	

手順4
20ページ
参照

手順5
24ページ
参照

該当する事項
がある方のみ
記入します。

手順5
24ページ
参照

還付される税金がある方のみ
記入します。

○ 記載手順については、この記載例で示している「平成29年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書A用」の該当ページを参照してください。

- ◎ 申告書は複写式になっています。申告書第一表と第二表を折りたたんだまま記入せず、広げるか、中央のミシン線で切り離してから、黒いインクのボールペンで、強く記入します。
- ◎ 2枚目は複写式の控えになっていますが、取り外して使用しても差し支えありません。申告書を提出するときは、2枚目は取り外してください。

- マス目に数字を記入する場合は、記入例①にならって、マス目の中に丁寧に記入してください。
- 1億円以上の金額がある場合は、記入例②にならって記入してください。
- 訂正する場合は、記入例③にならって、訂正する文字を二重線で抹消し、上の欄などの余白に適宜記入してください。

記入例① 縦線1本 すきまをあける 上に突き抜ける 角をつくる 閉じる

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

記入例② 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

記入例③ 80000
~~70000~~

【第二表】

(扶養控除に関する事項)

日本国外に住む子(国税花子)について、平成29年中の合計所得金額が38万円以下であったことから、新たに扶養控除の対象とする。

(雑所得に関する事項)

原稿料 300,000円 必要経費 0円

※ 記載例中における社会保険料の金額は、実際の金額とは異なります。

- 手順1
7ページ
参照
- 手順2
8ページ
参照
- 手順4
23ページ
参照
- 手順2
9ページ
参照
- 手順6
25ページ
参照

平成 **29** 年分の **所得税及び復興特別所得税の確定申告書A**

住所 **〇〇市△△町X-XX-X**
 コブゼイ 90ウ
 氏名 **国税 太郎**

所得の内訳 (所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額)

所得の種類	種目・所得の生ずる場所又は給与などの支払者の氏名・名称	収入金額	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
給与	給料 〇〇産業株式会社	7,140,000	169,500
雑	原稿料 〇〇出版	300,000	30,630

雑所得(公的年金等以外)・配当所得・一時所得に関する事項

所得の種類	種目・所得の生ずる場所	収入金額	必要経費等
雑	上記のとおり	300,000	0

住民税に関する事項

扶養親族の氏名 **国税 花子** 続柄 **子** 生年月日 **21.6.1** 別居の場合の住所 **〇〇市△△町X-XX-X**

個人番号 **XXXXXXXXXXXX**

別居の控除対象配偶者・控除対象扶養親族の氏名・住所 **国税花子 住所 XXXXX国 XXXXX**

FA0067

所得から差し引かれる金額に関する事項

社会保険の種類	支払保険料	掛金の種類	支払掛金
社会保険料控除	源泉徴収票のとおりに 1,073,196		
合計	1,073,196	合計	

所得の内訳 (所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額)

所得の種類	種目・所得の生ずる場所又は給与などの支払者の氏名・名称	収入金額	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
給与	給料 〇〇産業株式会社	7,140,000	169,500
雑	原稿料 〇〇出版	300,000	30,630

雑所得(公的年金等以外)・配当所得・一時所得に関する事項

所得の種類	種目・所得の生ずる場所	収入金額	必要経費等
雑	上記のとおり	300,000	0

住民税に関する事項

扶養親族の氏名 **国税 花子** 続柄 **子** 生年月日 **21.6.1** 別居の場合の住所 **〇〇市△△町X-XX-X**

個人番号 **XXXXXXXXXXXX**

別居の控除対象配偶者・控除対象扶養親族の氏名・住所 **国税花子 住所 XXXXX国 XXXXX**

扶養控除額の合計 **101** 万円

第二表 平成二十九年分(簡用) 所得税及び復興特別所得税の確定申告書A用(源泉徴収票) 国民年金・厚生年金保険・国民健康保険の被保険者(扶養)の氏名・住所

手順3
11ページ
参照

国外に住んでいる扶養親族の住所を記入します。

控除対象配偶者や扶養親族などのマイナンバー(個人番号)も記入する必要があります。

控除対象扶養親族が国外居住親族である場合に○を記入します。

【国外居住親族の扶養控除等について】

居住者が確定申告において、非居住者である親族(「国外居住親族」といいます。)に係る扶養控除、配偶者(特別)控除又は障害者控除の適用を受ける場合には、その国外居住親族に係る「親族関係書類」及び「送金関係書類」を確定申告書に添付し、又は確定申告書の提出の際に提示しなければなりません。

詳しくは、「平成29年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書A用」の36ページをご覧ください。

※ 給与等(公的年金等)の源泉徴収又は年末調整において、源泉徴収義務者に提出し、又は提示したこれらの書類については、確定申告書に添付又は提示する必要はありません。

(参考) 給与所得の源泉徴収票

平成29年分 給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者	住所又は居所 〇〇市△△町×-××-×	(受給者番号)							
		(役職名)							
		氏名 氏名 (フリガナ) コクゼイ タロウ 国税 太郎							
種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額					
給与・賞与	7 140 000	5 226 000	2 589 196	169 500					
控除対象配偶者の有無等	配偶者特別控除の額	控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)		障害者の数 (本人を除く。)	非居住者である親族の数				
有 配偶者		特定 1	老人 0	その他 1	0				
有 1		特定 1	老人 0	その他 1	0				
社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額						
1,073	196	105	000	21					
(摘要)									
生命保険料の金額の内訳	新生命保険料の金額 25,000	旧生命保険料の金額 35,000	介護医療保険料の金額 90,000	新個人年金保険料の金額	旧個人年金保険料の金額 25,000				
住宅借入金等特別控除の額の内訳	住宅借入金等特別控除(1回目)	住宅借入金等特別控除(2回目)	住宅借入金等特別控除(3回目)	住宅借入金等特別控除(4回目)	住宅借入金等特別控除(5回目)				
控除対象配偶者	氏名 (フリガナ) コクゼイ リョウコ 国税 良子	配偶者の合計所得	国民年金保険料等の金額	旧長期損害保険料の金額					
控除対象扶養親族	1 氏名 (フリガナ) コクゼイ イチロウ 国税 一郎	16歳未満の扶養親族	1 氏名 (フリガナ) コクゼイ ジロウ 国税 二郎	(備考)					
	2 氏名 (フリガナ)		2 氏名 (フリガナ)						
	3 氏名 (フリガナ)		3 氏名 (フリガナ)						
	4 氏名 (フリガナ)		4 氏名 (フリガナ)						
未成年者	外国籍者	死亡退職者	災害者	本人が障害者	寡婦	寡夫	勤労学生	中途就・退職	受給者生年月日
								就職 退職 年 月 日 明 大 昭 平 年 月 日	29 〇 49 11 16
支払者	住所(居所)又は所在地	〇〇区〇〇 ×-×-×		氏名又は名称	〇〇産業株式会社		(電話)	××-××××-××××	

【ご注意】

◎ 支払者から受領した「給与所得の源泉徴収票（原本）」を添付書類台紙に貼って提出しなければなりません。